

税金への理解

富良野市立富良野西中学校 三年 大澤 花音

税金とは何か。私が一番身近に納めているのは消費税だが、何に使われているかはよく分からない。政治家による税金の無駄遣いなどを、ニュースで耳にしたことがあったため、税金を納めることへの重要性は感じられなかった。これが私の素直な気持ちだった。

しかし、今、税金についてどう思うかと聞かれたら最初のようにには答ええない。私の税金に対する考えは大きく変わった。私は、税の作文を書くことになった時に、まずは税金を知ることから始めようと思った。税金について調べてはみたが、いろいろな情報があり、あまり分かっていなかった。その時にあるサイトで税金で街を作る体験ができることを知った。このゲームは、決められた予算で自分で街を作るというものだ。体験してみると、税金の重要性が分かった。まず、税金について驚いたことは、私たちの身の回りの建物やものなどが税金で作られているということだ。私は、調べる前から学校や公立病院、警察署などが税金で作られていることは知っていた。だが、動物園や水族館なども税金で作られているということを知った。最初は、なぜ税金が使われているかがよくわからなかったが、調べてみると文化や自然環境を守るために税金が使われているということだった。このようなことを知ると、税金を納めることは大事なことだと思った。

税金の話題になると、必ず耳にするのは、増税だ。増税に対しては、マイナスな考えが多いと思う。令和元年には消費税が十パーセントに上がった。当時も批判的な意見が多々あったと思うが、増税をすることは仕方ないと思う。税金はより良い社会になるために、また、私たち国民が快適に過ごせるように使われている。私がゲームを体験した時にも、お金が足りなくなってしまうと増税するという選択をした。しかし、無駄遣いが多かったとも思った。政府も、巨大な税金の無駄遣いを無くせばお金が少しは減らなくなるし、増税に対する理解も広がると思う。

私たちが今快適に平和に暮らしているのは税金があるおかげなので、税金に対する理解が広がってほしいと思う。